

1年での到達目標		通院・訪問診療・通所サービスを通して、患者の生活の中から患者の立場にたつことをとらえ、自身の看護観を深める。												
業務到達目標	成長の目安	社会人としての基本的なマナーを身につける	職場の環境に慣れる 物の位置・大まかなシステムを理解する	患者の全体像をつかむことができる 報告の必要性を理解することができる		時間配分と優先度を考えながら日動業務ができる 報告・連絡・相談の必要性が理解できる		外来及び入院対応が自立してできる 異変の報告と援助を求めることができる 2年目以降の配属先決定していく			受け持ち患者を持つことができる 異変への対応と報告ができる		SDHの視点から患者を捉えることができる チーム全体の動きを大まかに理解し、必要な情報を伝えることができる	
	実践行動	☐ 毎日出勤できる ☐ 出退勤時にあいさつができる ☐ 適切な言葉遣いができる ☐ 時間を守って行動できる ☐ 守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する重要性がわかる ☐ 病院・看護部の理念や基本方針を知っている	☐ 日動業務の流れがわかる ☐ 各科の場所がわかる ☐ 各物品の位置がわかる ☐ 指導を受けながら看護技術の見学・実施ができる ☐ 非常災害時の施設内の消火設備と避難経路が言える	☐ 自分の思いや心身の不調などを報告できる ☐ 電子カルテから患者情報を収集することができる ☐ ケアや処置など、準備から後片付けまで一連の過程を実施できる ☐ 行ったケアの記録が入力できる ☐ 時間内に業務を終了できる	☐ 指導を受けながら優先度を考えた行動計画が立案できる ☐ 日動メンバーとして看護目の前にしたとき、指導者に相談しながら優先順位がつけられる	☐ 指導者に患者の状態を報告できる ☐ 2つ以上の物事の処理を目的にしたとき、指導者に相談しながら優先順位がつけられる	☐ 正常な状態・異常な状態の判断ができる ☐ 日動帯の業務自立	☐ 急変時に応援が呼べる ☐ 夜診、巡回の業務の流れをすることができる ☐ 助言を受けながら、その日に割り当てられた業務の優先度を考えて行動できる	☐ 入院する患者の対応ができるようになる	☐ 助言を受けながら自己の看護実践を振り返ることができる	☐ 受け持ち患者を持ち、その患者の全体像をつかむことができる ☐ 急変患者への対応を指示通りにできる	☐ 支援を受けながらチームメンバーとしての役割を遂行できる ☐ 未経験や未習得の技術があれば積極的に経験・学習ができる	☐ 生活の中にある患者をとらえることができる ☐ 慢性疾患患者の看護に必要な視点を理解できる	☐ 看護観について話すことができる ☐ 患者を生活の場からとらえることについて自身の言葉で説明することができる ☐ 2年目に向けて自己の成長と課題が言葉にできる
	外来	演習・見学 第3週から配属部署へ	配属部署オリ 配属部署の業務を行う											
	すこ内科		配属部署オリ 配属部署の業務を行う											
	すこ透析		配属部署オリ 配属部署の業務を行う											
看護職員として必要になっている基本姿勢と態度について	研修	看護部の理念 民医連の看護と看護者の倫理綱領 ナイチンゲールに学ぶ「私のやりたい看護」 患者の権利と看護師の責務				カルテ開示				看護観をまとめるにあたっての視点【民医連看護3つの視点・4つの優点】	SDHIについて			
		個人情報の取り扱い 看護に必要な情報の捉え方		看護師に必要な接遇		看護記録について	カンファレンスにおける看護師の役割							
社会人基礎力について														
		看護部研修システムについて	毎週金曜日 振り返り研修 ～9月まで			3ヶ月の振り返り			毎週金曜日 振り返り研修 ～9月まで			6ヶ月の振り返り		看護部初期研修発表会での看護観の発表
	外部				看護協会:新人研修※7/7～14 どこか1日									
看護技術について	研修	認知症ケア コミュニケーション 感染対策 移乗・体位交換 採血・注射 褥瘡ケアの基本 静脈留置針の固定 摂食嚥下障害について 排泄のケア フィジカルアセスメント		輸液管理	酸素療法	インシデントレポート	記録	急変対応 (BLS/ACLS)	フットケア	ACP	口腔ケア		経管栄養法・食事介助・嚥下障害患者の理解	看護必要度について
	現場での獲得:技術		フィジカルアセスメント 標準予防策・手洗い 採血・注射 電子カルテの使い方 看護記録 コミュニケーション	輸液管理 各種検体採取	酸素療法 皮下注・筋注 Ba留置	報告・連絡・相談		入院対応	輸血					
	現場での獲得:知識		感染対策 採血・注射	輸液管理 検査データの読み方	酸素療法	インシデントレポートの書き方	看護記録	急変対応 (BLS/ACLS)	薬物療法 心電図	輸血	吸引 口腔ケア	褥創処置と評価方法	輸液ポンプの準備と管理	
	ナースिंगサポート	★そのバイタルサインは何を示す?～患者の現在・未来を見返すためのテクニック/心構え～	ミニ ★あなたのコミュニケーションの特徴を知ろう～リアリティショックを和らげるためのヒント～	患者の安全・安心・安楽を守る採血のコツ ～正しい手技で正確な検査結果につなげよう～	これであなたも皮下注・筋注マスター! ～オロオロから卒業しよう～	★フィジカルアセスメントの戦術 ～どう着目し、どう進めるか～	★患者が見える、ケアが伝わる看護記録	★新人看護師のあなたが身につけたい協働する力『コミュニケーション力』	★患者さんの変化を見逃さない!心臓の動きから理解する心電図モニター	★輸血の基礎知識と安全のためのコミュニケーション	★安全で安楽な排痰・吸引技術をもつにする	★褥瘡ケアの「いろは」～予防・発見・悪化防止の3ステップ～	★「口から食べたい」を叶える看護師の口腔ケア・摂食嚥下支援	★未来の「わたし」をイメージしよう～先輩ナースには何が必要?～
			これであなたも静注・静脈留置針マスター! ～ヒヤヒヤしなくても大丈夫～	★安全な尿道カテーテルの導入と感染管理	★転倒・転落予防のためのアセスメントを知ろう	ナースコールにも慌てない多重課題に立ち向かえ	★「わかる」が「できる」になる急変対応 ～新人看護師のあなたにできる一歩～	看護師が知っておきたい薬物療法 ～安心・安全と効果的な治療のために～	★患者の希望を叶え、家族を支えるエンド・オブ・ライフ・ケア	★患者の痛みを知り、疼痛ケアに活かす	みえないニーズをとらえよう～精神的・社会的・スピリチュアルニーズのとらえ方～	★輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームを鳴らさせないための基本テクニック	ミニある新人看護師の完璧なる1日～タイムラインの作り方編～ある新人看護師の完璧なる1日～日動・夜動編～	
管理的実践面における	システム	ISO・目標管理 物品管理(中材見学) コスト管理						ISO 目標管理						
	多職種との協働	医療安全について 放射線科 薬剤部 リハビリテーション科 栄養科・NSTIについて リエゾンチームについて	防災対策					急変対応における医師との連携 様々なカンファレンス						
	外部				医療安全文化の醸成をめざして			KYTをもとにした医療安全とは						
メンタルサポート				職場:1ヶ月面談	法人:ストレスケア	職場:3ヶ月面談	メンタルサポート 個別・産業カウンセラーとの面談		部署6ヶ月面談	メンタルサポート(希望者)			1年面談	
見学行事等		全体オリ 県連院所見学 他部署見学	友の会活動参加	5/1 メーデー (こがねだ健康まつり)	6/ 国民平和大行進	8/ 原水爆禁止世界大会		みどり・華陽健康まつり	全国ジャンボリー				初期研修発表会 県連学術運動交流集会	
※ 2年目にやること:看護記録、看護診断、看護必要度、看護過程、退院支援、人工呼吸器、														

※ 2年目にやること看護記録、看護診断、看護必要度、看護過程、退院支援、人工呼吸器、